

## 平成21年度第1回機械振興補助事業審査・評価委員会 議事要旨

1.開催日時 平成21年7月15日(水) 午前10時～12時

2.開催場所 財団法人 JKA 7A会議室

3.出席者 (委員) 大山委員長、岡委員、河田委員、古宮委員、野坂委員、山田委員  
(本財団) 久能木理事、笹部機械工業振興グループ長、浅倉振興事業チーム長、  
小林自転車振興チーム長

4.議題 (1)平成22年度機械工業振興補助事業の補助方針(案)について  
(2)その他

### 5.議事要旨

(1)平成22年度機械工業振興補助事業の補助方針(案)について、事務局からの説明後、意見交換が行われ、原案どおり了承された。

主な内容は、以下のとおり。

#### ア. 補助対象事業の審査等について

○平成20年12月1日より、「公益法人制度改革法」が施行されたことにともない、補助対象主体は、一般社団・財団、公益社団・財団、特例民法法人の全てとし、JKAにおいて、公益法人認定法に準じ、事業の公益性について審査するとともに、情報開示状況についても確認する。

#### イ. 新規重点事業関連について

##### ①「青少年の理科離れ対策の推進」の補助する対象法人について

○国・地方公共団体の事業は、公設試の機器整備以外は対象法人としておらず、行政改革で法人形態が変わった独立行政法人、国立大学法人についても対象としていない。教育活動そのものは従来から補助対象としておらず、本件についても同様であり、この観点から、学校法人も補助対象としていない。

##### ②「介護支援等分野の機器開発等」について

○福祉その他の一般的な公益事業振興と併行して、機械工業振興を行っているところがJKAの社会貢献活動の特色であり、両事業のクロスオーバーを試みたい。

○介護支援等分野の機器開発等に対し、機械関係者のみならず、必要性やニーズ等の視点に立ったユーザー側からの提案を期待し、対象法人として社会福祉法人も加えたい。

### ③「中小機械工業」について

○22年度はイノベーションを打ち出し、前向きな方向で中小企業の新規事業創出を推進する。

⇒再生関係については、国等、政策系の銀行からも手厚い支援が行われていくことも踏まえ、補助財源が減少する中、JKA補助事業の特徴化を図る。

### (2)その他

平成19～21年度補助事業のプレゼンテーション終了後、それらの内容を踏まえ、意見交換が行われた。

主な内容は、以下のとおり。

○高補助率団体の事業計画については、事業目的の根拠等のより一層の明確化・透明性に向けた説明が必要である。

○国等との役割分担のあり方についても考えるべき。

○事前計画・事後評価の事業計画については、現在まで改善してきた様式評価書を活用していくが、公益法人改革関連対応事項の追加や補助事業のパブリシティに係る事項の充実、事業成果の波及効果等の一層の明確化、機械工業の振興と関わり具合等について、引き続き改善を加え、説明責任の完遂、事業内容の透明性の向上を図っていく。

(本議事要旨は、事務局において作成した。)